

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休校となってから、今日で20日が過ぎました。この20日間、皆さんはどのように過ごしていたでしょうか。

急に学校が休みになったことをどう捉えるかは人それぞれだと思います。例えば、学校に行けないから勉強を教えてもらえない、時間をどう使っているかわからず、もてあましてしまう、家にこもってばかりでストレスがたまっていると思っている人もいるかもしれません。逆に、不得意な教科の勉強に時間をかけることができた、本をたくさん読むことができ、素晴らしい本に巡り会った、家の手伝いができて家族から感謝されたなど、この期間を有意義に過ごした人もいたと思います。さて、皆さんはどちらだったでしょうか。

このようなときこそ、「自分はどうかあるべきか」という自分の考えをしっかりとつことが、皆さんのこれからの人生を大きく変えると思います。ピンチをチャンスに変える前向きな発想ができれば、予測不可能なこれからの時代をたくましく生き抜いていけると思うからです。

さて、この1年間は皆さんにとってどんな1年だったでしょうか。1年前に皆さんに私からお話ししたことを覚えていますか。

1年生には、入学式で私が好きな「成功の反対は失敗ではなく、チャレンジしないこと」という言葉を紹介し、授業や部活動で、少し勇気を出して、失敗を恐れずチャレンジしてください。と話しました。

2年生には、1学期の始業式で吉田松陰の言葉を引用して、高い目標や綿密な計画があっても、実行する勇気と強い意志、そしてそれを継続する根気強さがなければ、成功はないと話しました。

チャレンジする勇気、強い意志、根気強さは「自分を信じる」ところから生まれると思います。皆さんはこの1年間で心身ともに大きく成長し、授業はもちろん部活動や生徒会活動の場面で、1年前とは見違えるほどたくましくなりました。自信を持って次の学年に進級してほしいと思います。

4月からは、あたりまえですが、2年生は3年生になります。最上級生として、1, 2年生を引っ張っていかねばなりません。言葉よりも行動で示せる最上級生になってください。1年生は2年生になり、先輩と呼ばれるようになります。相談しやすい頼れる先輩になってください。そして2年生と3年生が協力し合いながら、原町第三中学校の発展を担ってほしいと思います。

それでは、この春休みにしっかりと進級のための準備をし、新たな気持ちでスターを切り、令和2年度、皆さん一人一人が大きな成果を上げることを期待して、式辞といたします。

令和二年三月二十三日

南相馬市立原町第三中学校長 鈴木 太

